

◆主要ニュース◆

- 2022年たばこ自販機普及台数9万2300台/2022年度全協会長表彰に九州北部連合会が受賞/分煙環境整備要望活動総数1400件を超える……………2面
 ●高山組合・JT岐阜支社が協働して「高山祭」に喫煙所等の設置場所をPRするオリジナルポスターを貼付/浜松組合・JT静岡支社が磐田市に分煙環境都市宣言ステッカー等を寄贈……………3面
 ●改正健康増進法全面施行から3年経過/愛煙奇縁②/たばこの出会い⑤……………5面
 ●浜松組合が浜松祭りの風揚げ会場で「ひる街」に参加/令和5年春の歓迎受章者3氏/加熱式たばこ「neo」5鉛柄が順次リニューアル/話題:たばこと塩の博物館「大田南歐の世界」/南北海道組合の「お中元ギフト」特別販売……………6面
 ●先人の言葉⑩/おもしろクイズ/江戸の世を彩る川柳評②/投稿……………7面
 ●お店紹介:秋田県の関谷商店/「Ploom X」専用たばこ1鉛柄を全国発売/お便りコーナー/POP講座……………8面

全國

全國
たばこ
新聞

2023年 6月 June 第926号

- 発行元/全国たばこ販売協同組合連合会 〒105-0014 東京都港区芝1丁目6番10号 芝SIAビル7階 TEL.03(5476)7551
 ■企画編集責任/株式会社アーネスト 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2 新橋第一ビル TEL.03(3432)8346

全協

「たばこ税額周知ステッカー」
今年度も全組合員対象に配付へ

全協では、店頭・自販機から地方たばこ税の財政貢献額を地域社会に情報発信する「たばこ税ステッカー」(A4サイズ・写真)を連合会・単協を通じて全組合員に配付する。全協の重要施策と位置付けられており、年から毎年配付されており、お店が地元市区町村のたばこ税額を明記(手書き)し、店頭から地域の人々にたばこ税に対する認識の浸透と深化を目指すものだ。

税収の安定的確保には分煙環境整備

たばこは、嗜好品の中で最も定価の「6割」という最も高い税率が課されている。財政物資であり、中でも地方たばこ税は定価の26.3%を占め、「都道府県」「市町村」(東京都23区も該当)にとつて徴稅費なしで、しかも使途が限定期(推定)の1人当たりに単純換算すると年間約5万円に相当する。たばこ税を最終的に負担するのは、喫煙者である。たばこ税の安定期は、その中で重要な財源であるためには、喫煙者が安心して吸える喫煙環境の確保が重要であり、喫煙者と非喫煙者の共存できる社会の実現が最も望ましい施策である。

2段廣告

2022年度の全協会長表彰
九州北部連合会が受賞

2022年度全協会長表彰は、選考委員会での厳正な審査の結果、九州北部連合会(全国政治連盟九州北部地区本部)の受賞が決まり、4月26日の連合会長会議で報告された。受賞理由は、連合会(白石宗範会長)と政治連盟地区本部(白石宗範地区本部長)とが表裏一体となり、「政治連盟会員の高水準な加入率への取り組み」の顕著な功績が評価された。

表彰は、選考委員会での厳正な審査の結果、九州北部連合会(全国政治連盟九州北部地区本部)の受賞が決まり、4月26日の連合会長会議で報告された。受賞理由は、連合会(白石宗範会長)と政治連盟地区本部(白石宗範地区本部長)とが表裏一体となり、「政治連盟会員の高水準な加入率への取り組み」の顕著な功績が評価された。

表彰は、選考委員会での厳正な審査の結果、九州北部連合会(全国政治連盟九州北部地区本部)の受賞が決まり、4月26日の連合会長会議で報告された。受賞理由は、連合会(白石宗範会長)と政治連盟地区本部(白石宗範地区本部長)とが表裏一体となり、「政治連盟会員の高水準な加入率への取り組み」の顕著な功績が評価された。

表彰は、選考委員会での厳正な審査の結果、九州北部連合会(全国政治連盟九州北部地区本部)の受賞が決まり、4月26日の連合会長会議で報告された。受賞理由は、連合会(白石宗範会長)と政治連盟地区本部(白石宗範地区本部長)とが表裏一体となり、「政治連盟会員の高水準な加入率への取り組み」の顕著な功績が評価された。

表彰は、選考委員会での厳正な審査の結果、九州北部連合会(全国政治連盟九州北部地区本部)の受賞が決まり、4月26日の連合会長会議で報告された。受賞理由は、連合会(白石宗範会長)と政治連盟地区本部(白石宗範地区本部長)とが表裏一体となり、「政治連盟会員の高水準な加入率への取り組み」の顕著な功績が評価された。

JVMAでは「たばこ自販機は成人識別装置が搭載されて以降、台数の減少はとどまることがある。過去最高の落ち込みである。JVMでは「たばこ自販機は成人識別装置(20.4%)の大

幅な減少となつた。この減少幅は成人識別自販機システムタスコを導入した2008年の18.4%減を上回る2割強の過

2008年と2022年との比較で興味深い数字がある。自販機台数は42万台から9万台まで78.2%減、全協調べの組合員数は11万8千人から

2008年と2022年との比較で興味深い数字がある。自販機台数は42万台から9万台まで78.2%減、全協調べの組合員数は11万8千人から

たばこ自販機2022年普及台数9万2300台

日本自動販売システム機械工業会(JVMA)が発表した2022年12月末現在のたばこ自販機(以下自販機)の普及台数は9万台(20.4%)で、前年に比べ2万台(20.4%)減った。月末現在のた

たばこ税増税によりたばこ総需要の減少、タスコ導入による対面販売への移行とメーカーのリース機撤退、自販機を設置しないコンビニ店の増加、零細店の廃業の増加など、自販機離れを助長する厳しい市場環境の変化がある。

2008年と2022年との比較で興味深い数字がある。自販機台数は42万台から9万台まで78.2%減、全協調べの組合員数は11万8千人から

2008年と2022年との比較で興味深い数字がある。自販機台数は42万台から9万台まで78.2%減、全協調べの組合員数は11万8千人から

前年比20.4%の減少幅は過去最高

題には、2024年上期の新紙幣発行の対応と前述のJVMAのコメントによる成人識別が終了することから、更なる台数減が予測される」との見解を示した。

減少要因は、度重なるたばこ税増税によりたばこ総需要の減少、タスコ導入による対面販売への移行とメーカーのリース機撤退、自販機を設置しないコンビニ店の増加、零細店の廃業の増加など、自販機離れを助長する厳しい市場環境の変化がある。

自販機の普及台数		
機種	中身商品例	普及台数(台)
飲料自動販売機	清涼飲料(缶ボトル)	1,994,000
	乳飲料(紙パック)	100,400
	コーヒー・コカ(カップ)	128,000
	酒・ビール	20,300
飲料小計		2,242,700
食品自動販売機	インスタント麺・冷凍食品・アイスクリーム・菓子他	77,700
	タバコ	92,300
券類自動販売機	乗車券	14,200
	食券・入場券他	48,900
	券類小計	63,100
日用品雑貨自動販売機	カード・衛生用品・新聞・玩具他	201,500
自動販売機合計		2,677,300
自動サービス機小計(両替機・コインロッカー他)		1,292,200
合計		3,969,500

(出典:日本自動販売システム機械工業会)

自販機の当面する課題として、自販機普及台数は3万2755人で72.3%の減と、みじくも減少率がほぼ同じ。自販機の減少は零細店の廃業(市場撤退)が主要要素ともいえる。マイナンバーカード方

トにあるように、タスコ撤退による成人識別が終了する予定になつて終了する予定になつていること。その後は、財務省が認定する運転免許証マイナンバーカード方

広告3段



左から草地博昭市長、石原央理事長、井上大爾支社長

昌典副支社長と早瀬
當日は、浜松組
合の石原央理事
長と鈴木千明事
務局長、JT静岡
支社の井上大爾
支社長と大爾支
社長と早瀬



分煙都市宣言ステッカー(タテ)



分煙都市宣言ステッカー(ヨコ)

昭市長は、今回の取り組みは下田市、湖西市に続き3市目である。組合では、「行政による規制強化がたばこ店に与える影響は非常に大きい。そういう

現存する日本最古の木造校舎は、磐田のシンボルともいわれる建造物。旧見付学校は明治8年(1872年)に落成した。



13日、磐田市に寄贈する

これは、浜松組合(石原央理事長)とJT静岡支社(井上大爾支社長)が、分煙の促進や喫煙マナーの向上などを促そうと、オリジナルステッカー170枚を磐田市に贈ったもの。

磐田市に分煙都市宣言ステッカー等を寄贈

—浜松組合とJT静岡支社—

下田市、湖西市に続き3市目

浜松たばこ組合は4月13日、磐田市に寄贈する

等の寄贈式に参加した。これは、浜松組合(石原央理事長)とJT静岡支社(井上大爾支社長)が、分煙の促進や喫煙マナーの向上などを促そうと、オリジナルステッカー170枚を磐田市に贈ったもの。

この日は、浜松組合の石原央理事長と鈴木千明事務局長、JT静岡支社の井上大爾支社長と早瀬

春の高山祭の盛り上がりにひと役 喫煙所等の設置場所をアピールする オリジナルポスターを作成、お店・商店街等に貼付

岐阜県高山組合とJT岐阜支社が協働で

岐阜県の高山組合(打保達也理事長)では、4月14、15日の両日に開催され、約17万人の人出で賑わった春の高山祭に向かって、JT岐阜支社並びに各種団体と協働し、喫煙所等の設置場所をPRするオリジナルポスターを作成(本紙5月号)、祭会場での喫煙所の設置や高山市をPRするとともに、各組合員の店頭や市内

の各地にポスターを貼付し祭りを大いに盛り上げた。この活動に先立ち、昨年11月に打保達也理事長、大道雅司専務理事並びにJT岐阜支社の景山徹也支社長、齊藤克明



特設喫煙所・外観(左)、同内部(右)、野外の喫煙所(右下)

提案にあたっては、高山組合・JTで高山市街地の喫煙所に関する調査活動等を行うとともに、高山市商店街振興組合連合会の長瀬哲代表理事にポイ捨て状況や喫煙所の協力依頼を行った。提案では、田中明市長にpoi捨て状況や喫煙所がどこにあり、その場所をどうやって知つていただか等を検討し、JTのツールである喫煙所マップ(MAP)をより使いやすくするために、掲載内容や喫煙所写真を更新した上で、喫煙所MAPのQRコードを掲載したポスターを製作することなどを提言、さらに、地方たばこ税を活用した分煙環



市内の様々なところにポスターが掲出された(掲載写真は一部の地域)



「高山市民文化会館」の喫煙所



「飛騨高山ビッグアリーナ」の喫煙所

道な活動が大きな成果を生む

高山組合では、これまでJTと協働し、スモーキング・クリーン(美化)活動や20歳未満喫煙防止キャンペーンの実施などに加え、地方たばこ税を活用した分煙環境整備について、2021年度には飛騨高山の文化活動等の中心となっている「高山市民文化会館」に、さらに、2022年度には岐阜県の主要体育馆のひとつである高山市総合体育馆「飛騨高山ビッグアリーナ」に取り組みへの協力を了解してもらった。また、打保達也理事長の尽力により、高山市商店街の所属する商店街の各店舗等に直接、出向いてポスターの掲出を交渉、取り組みへの協力を了解してもらつた。

こうした成果は、組合・JTの協働による、行政議会等への常日頃からの地道な活動によるものだ。また、高山組合は、高山市より「ポイ捨て等及び路上喫煙防止推進員」の委嘱を受け、推進員となってJTと協働して様々なノベルティーを作製、「ポイ捨て等及び路上喫煙防止」に高山市と連動して活動している。

高山祭では、祭の中心部である「陣屋」のもうともよい場所(高山組合の事務所近く)に毎年、高山組合が喫煙所を確保しており、今年も、その場所に特設の喫煙所を確保し、多くの喫煙者がから大いに感謝された。

高山組合では、これまでJTと協働し、スモーキング・クリーン(美化)活動や20歳未満喫煙防止キャンペーンの実施などに加え、地方たばこ税を活用した分煙環境整備について、2021年度には飛騨高山の文化活動等の中心となっている「高山市民文化会館」に、さらに、2022年度には岐阜県の主要体育馆のひとつである高山市総合体育馆「飛騨高山ビッグアリーナ」に取り組みへの協力を了解してもらった。また、打保達也理事長の尽力により、高山市商店街の所属する商店街の各店舗等に直接、出向いてポスターの掲出を交渉、取り組みへの協力を了解してもらつた。

こうした成果は、組合・JTの協働による、行政議会等への常日頃からの地道な活動によるものだ。また、高山組合は、高山市より「ポイ捨て等及び路上喫煙防止推進員」の委嘱を受け、推進員となってJTと協働して様々なノベルティーを作製、「ポイ捨て等及び路上喫煙防止」に高山市と連動して活動している。

高山組合では、これまでJTと協働し、スモーキング・クリーン(美化)活動や20歳未満喫煙防止キャンペーンの実施などに加え、地方たばこ税を活用した分煙環境整備について、2021年度には飛騨高山の文化活動等の中心となっている「高山市民文化会館」に、さらに、2022年度には岐阜県の主要体育馆のひとつである高山市総合体育馆「飛騨高山ビッグアリーナ」に取り組みへの協力を了解してもらった。また、打保達也理事長の尽力により、高山市商店街の所属する商店街の各店舗等に直接、出向いてポスターの掲出を交渉、取り組みへの協力を了解してもらつた。

こうした成果は、組合・JTの協働による、行政議会等への常日頃からの地道な活動によるものだ。また、高山組合は、高山市より「ポイ捨て等及び路上喫煙防止推進員」の委嘱を受け、推進員となってJTと協働して様々なノベルティーを作製、「ポイ捨て等及び路上喫煙防止」に高山市と連動して活動している。

最近はキャンプ（キャンピング）が流行しているようだが、かつて野外活動を行う際に「マッチ（燐寸）」は不可欠な品であつた。現在は目にすることが少なくなつたマッチだが、今回はその歴史を何回かにわたり振り返つてみたい。

人類が火を用いることによつて進化し、やがて文明を築くよくなつたことは歴史の教科書に

1669年、ドイツの
化学者ヘニンゲ・ブラント
が燐を製造し、1680
年、イギリスの物理学者
ロバート・ボイルが小さな
燐のかけらを使つて、硫

1826年のある日、ジョン・ウォーカーというイギリスの化学者が新しい爆薬を開発する中で、カリウムとアンチモをもたらした。

流行り棒はいきなり炎につつまれた。偶然の出来事の中で摩擦マッチを発明したウォーカーは、これを探りマッチとよび、ロンドンで実験説明を行つたが、発明の特許は取らなかつた。

その後、1836年にアメリカのマサチューセッツ州スプリングフィールドのアロンゾ・D・フーリップが「摩擦マッチの製造」の特許を獲得し、「ロコフォコ・マッチ」と名付けた。わが国にマッチが伝わった時期は、はつきりとしないが、1860年頃に描かれた浮世絵版画にマッチで火を起こして外国人がたばこを吸う姿が描かれているので、おそらくペリー来航により日本が開国したこと

場所が減ってきて苦労してゐるんだよ」と私。彼女は「主人もまだ吸つてゐるけど、同じように溢している。値段の半分以上は税金だと言つてゐるけど」と。続けて私は「そう、六割超えており、お酒やガソリンより税負担率が高く、たばこ税は年間約二兆円みたい」と応じました。すると彼女曰く「二兆円と言つてもね、ピンとこないよね」と。そう言う私も金額の桁が大きすぎ実感が湧きません。続けて彼女が突っ込んできました。「で、あなたのの

市町村たばこ税は百三十一円とか。その他、たばこ特別税と消費税が六十九円。「メリウス」を毎日一箱だから年間、どれだけ納税しているか計算すると、まず国に約五万円、都道府県に約七千八百円、区市町村に約四万八千円。たばこ特別税は約六千円。「ひえい、十一年も納税してゐるのに」と驚嘆。なんとなくわかつてはいましたが：。愛煙家はこれほど余計に納税してゐるのか。身近な自治体である区市町村に四万八

ない人も含めた一般の人向けかな。
また金額の桁が大きいし、正直ピンとこないし、自分のこととしてイメージしにくいと思うのは私だけでしょうか。もつと愛煙家が「そうなんだよ」と共感できる表現にできないものでしょ
うか。肩身が狭く、意見を発しない愛煙家も、何かの機会、手段を使って声をからして叫ぶようになるのでは。誰か愛煙家の思いを発信する動画サイトを立ち上げないかなと、いま期待しています。

マツチの話①マツチの発明と流行

愛煙奇縁

黄にひたした木片に火をつけた。このマッチは150年
この化合物を棒でかき混ぜていると、その先のところが固まりになつて

その後、1836年に
アメリカのマサチューセッ
ツ州スプリングフィールド

市町村たばこ税は百三十一円とか。その他、たばこ特別税と消費税が六十九円。

向かぬ。
また金額の桁が大き
いし、正直ピンとこない



改正健康増進法全面施行から3年経過

改正健康増進法が2020年4月1日より「望まない受動喫煙を防止すること」を目的に全面施行されて丸3年が経過した。この3年間は、たばこ業界にとって「未曾有の苦難」でもあった。

改正健康増進法は、第一種施設（学校、病院、児童福祉施設、行政機関の庁舎等）の敷地内は禁煙、第二種施設及び喫煙目的施設以外の多数の者が利用する第一種施設（飲食店、ホテル、事務所等）は原則屋内禁煙とする——など厳しい喫煙規制であった。

所または一部の場所で喫煙できる」となった。

しかし、法施行直後に追い打ちをかけたのが想定外の新型コロナの感染拡大。2020年4月7日に政府の感染拡大防止の「緊急事態宣言」が発出され、社会的関心が一気に高まり、事態はより深刻化した。契廻所での「コロナ

する“喫煙難民”が発出。路上喫煙、屋外でのポイ捨て、隠れただばこが社会的な問題となつた。その後もコロナ禍の影響が3年間にわたり長期化したことは記憶に新しいところ。

コロナ禍、さらには度重なるたばこ税増税にあっても、たばこを愛する喫煙者が健在であること。今、たばこ業界は、喫煙者を守るために喫煙場所の確保、喫煙マナー啓発活動の徹底（去る4月27日のたばこ事業等分科会で指摘あり）を含めて、契煙環境整備こ

コロナ禍がやや落ち、場合、税金がいくら煙に着き、久しぶりに中学の同窓会の開催案内が届き、楽しみにしながら、当日を迎えた。懐かしい面々が集まり、受付で席番号のクジ引き。私の隣は成績良くて当時の生徒会副会長。近づき難く苦手だった彼女。乾不後、堅苦しき。私はたばこのお蔭で苦手意識がなくなりました。

後日、彼女の問い合わせで、裏に残り、「メビウス」五百八十円を毎日吸つて、私のたばこ税負担額を知らうと、「日本たばこ

前や公共施設に喫煙で
きる施設をつくってほしい」と思う。皆さん、然
りですよね。

お店、喫煙者に想定外の苦難強いいる

煙所
中し、
契煙
況にある。

たばことの出会い⑤ 太秦広宣

千円も納税している。

● 以前は、昔からの常連さんに親しくしていたが、色々な話をしながら、その方のお人柄を知ることができたり、広く世界を知ることができたり、広く世界を知ることができます。主人は、「ようやく、それぞれの人に合わせて様々な話ができるようになりました。今も、若い常連さんが2~3人ぐらいでいらっしゃいますが、みなさんは本当に夢中で、話はナシ。私も夢中で、話はナシ。私は



● 桜やチューリップなど花が咲き乱れていたかと思つたら、ツツジやサツ

(静岡県・渡辺清子さん)
（山口県・平田勝子さん）



秋田県潟上市の関富商店は、長年にわたり「たばこへの熱い思いを表現した手作りポスターを店内に掲示し、お客様との交流と絆を深めている。手作りポスターは、ご夫婦の関谷勇二さんと由紀子さんの共同作品だ。

半世紀前からポスターを掲示しているが、18年前にご夫婦が体調判斷し、新たな試みとしてポスターには「せきとみ」

4店が近くに出店。これは太刀打ちできないと

手作りポスター製作の担当は由紀子さん。キャラクターは幼稚園の年長の子供さんがポスターを見上げながら大きな声で「お仕事頑張ってくださいね」ともしばしば。

お店紹介 秋田県潟上市の関富商店

ですか?」「絵が上手ですね。誰が描いたのですか?」とか、中には「写真を撮らせてください」、先日

POP講座のデータ提供について たばこ組合を通じて お申し込みを

日頃より「手作りPOP講座」をご愛読いただき、ありがとうございます。

本紙では、読者のみなさまからのご要望等に応え、本紙に掲載された「手作りPOP講座」の清刷り(白い紙に印刷されたもの)のデータを、ご希望の方に提供することといたしました。

ご希望の方は、所属するたばこ組合を通じてお申し込み下さい。
(編集部)

も会話ができず、ため息ばかりです。昔は、……と思ふ今日この頃です。

お客様の反応は「所長さんは誰ですか?」と店に注目していただけます。私たちのたばこ販売にかかる意気込みを「研究所」としました。あくまで自称です」(勇二さん)。

「Ploom X」の新メビウスに、ひとクセある旨さのミントが登場 「メビウス・ミックス・ミント・メンソール」

5月22日より、500円で全国発売 JT

JTは、加熱式たばこ用デバイス「プルーム・エックス(Ploom X)」において、「メビウス・ミックス・ミント・メンソール」を、2023年5月22日より順次、全国のたばこ販売店及びコンビニエンスストア等で発売する。

「メビウス・ミックス・ミント・メンソール」は、ハーバルミント特有の風味と甘さが融合したクセになる味わいを、天然メンソール100%で愉しめる。

なお、「プルーム・エックス」で愉しめるメビウスブランドは、2023年3月にリニューアルを実施。本物のたばこ感を追求する「ACTIVBLEND® for Japan



(アクティブブレンドフォージャパン)により、お客様に確かな満足をお届けしている。また、リニューアルに伴い、価格も500円(税込)と買い求めやすくなっている。商品概要などは、次のとおり。

■メビウス・ミックス・ミント・メントソール・プルーム・エックス用
【内容物】たばこスティック20本/
【喫味】メンソールタイプ/
【価格】500円(税込)

6月のP.O.Pの作り方

カラーコピーでPOPを作つてみましょう。

●カラーコピーで拡大して簡単にPOPを作つてみましょう!
お近くのカラーコピーで拡大コピーをプリントして、厚紙に貼り、切り抜きます。(コピーの拡大プリントでわからない点はお店で相談してみてください。)
この点線内を200% (A4サイズ)に拡大カラーコピーします。

用意する道具

ハサミ、カッター、スティックのり(太め)又はスプレーのり
穴あけ用ピン、手芸用ボンド、糸(60cmくらい)
ゼムクリップ(3個)

用意する材料

ケント紙特厚口A4サイズ1枚(または、画用紙)



Design: イザ・デザイン